

## 車両進入抑止柵 レーンバリア 日鉄神鋼建材（株）

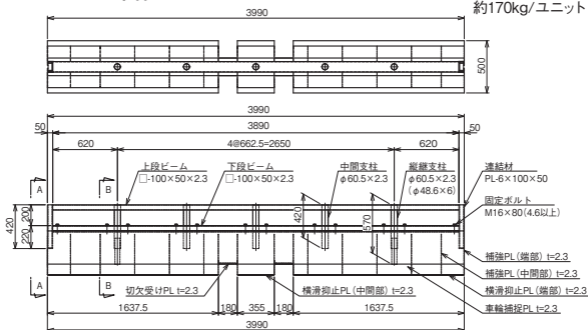
高速道路等の『維持・補修工事』に従事する作業員の『安心・安全』の確保を目的とした仮設用車両進入抑止柵です。現在、道路規制で使用している規制資材（ラバーコーン等）と比較して視認性が向上する事で車両の誤進入防止や、万が一工事規制内へ走行車両が進入した際に、工事従事者の安全性向上（重大事故発生抑制）が期待出来ます。

本製品は東日本高速道路(株)と鋼製防護柵協会の共同開発製品です。

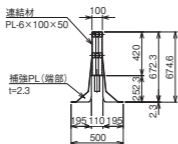
### レーンバリア本体

組立図 S=1/20

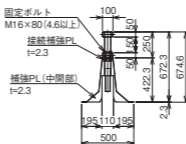
製品重量(参考)  
約170kg/ユニット



A-A矢視図 S=1/20

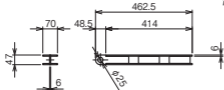


B-B断面図 S=1/20



接続材 S=1/10

製品重量(参考)  
約3kg/本



注) レーンバリア本体、及び接続材の重量は完成品重量(参考)になります。

## 特長

1. 従来の仮設防護柵より軽く、置くだけの簡単施工になります。
2. ワンタッチでユニット同士の接続が出来るシンプルな構造です。
3. 積載時に2段積みが可能で、車両への積載が容易です。
4. ハンドリフト等を使用する事で、現場での移動も簡単に行えます。
5. 最短設置延長は、32m (4m/基×8基) となります。

### ご注意とお願い

本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したものでない限り、保証を意味するものではありません。本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、担当部署にお問い合わせください。本資料に記載された内容の無断転載や復写はご遠慮ください。本資料に記載された製品または役務の名称は、当社および当社の関連会社の商標または登録商標、あるいは、当社および当社の関連会社が使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。その他の製品または役務の名称は、それぞれ保有者の商標または登録商標です。